

# 厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 令和2年3月10日(火)  
14時00分開会 14時15分閉会
- 2 会議場所 役場3階第2委員会室
- 3 出席議員 委員長：高橋政悦 副委員長：中河つる子  
委 員：川上 均、鈴木孝寿、西山輝和、中島里司
- 4 事務局 事務局長：山本 司
- 5 説明員
- 6 議 件  
  
(1) 所管事務調査の申し出について  
(2) 議会報告会と町民との意見交換会について  
(3) その他
- 7 会議録 別紙のとおり

委員長（高橋政悦）：それでは皆様、定例会終了後、お疲れのところお集まりいただきありがとうございます。只今から、厚生文教常任委員会を開会する。議件は3つ、1つ目が所管事務調査の申し出について、2つ目が議会報告会と町民との意見交換会について、3つ目がその他ということで、よろしくをお願いします。

### （1）所管事務調査の申し出について

委員長：早速議件1に入る。所管事務調査の申し出について、「新保育所・御影こども園・幼稚園の運営について」は継続調査となっているが、そのほかに調査を行いたい事項があれば意見を出していただきたい。

（なしの声あり）

委員長：6月定例会までの所管事務調査については、継続調査となっている「新保育所・御影こども園・幼稚園の運営について」のみということで申し出を行いたいと思う。あとは、突発的な事項に対応するため「他所管に関する事項について」の申し出もあわせて行う。

### （2）議会報告会と町民との意見交換会について

委員長：議件2の議会報告会と町民との意見交換会について、議会運営委員会から、今年度の開催方法について、各常任委員会で検討してほしいということで、今回議題に上がっている。

まず、平成29年からテーマを設けて意見交換会を行っているが、本年度もそのようにテーマを設けてするのか、テーマはいらないのではないかとご意見をいただきたい。テーマを設けるといことになれば、どんなテーマにするかということまで決定していただきたい。各委員のご意見を伺いたい。

川上委員：テーマを持つべきかどうかということで、ちょっと外れるかもしれないが、やり方として、昨年初めて議会報告会に参加させていただいた。対面方式で例年どおりということで、実は先日、浦幌町の議会報告会に参加させていただいて、そちらのほうではテーマを決めて、ワークショップ形式、10人ぐらいのグループに分けて、その中に議員が入ってそれぞれ自由討論するような形で進めていた。それがいいのかわからないが、以前うちのような形の対面方式をやっていたら、出てくる人が決まっていて、それも長々と同じようなことを毎回話すとのこと。いろいろな弊害がある中で、なかなか町民の真の意見が出てこないということで、そういうワークショップに変えたら、新しい、今までとは違う若い人も含めて参加してもらっているということで、一つの成果があったということで、参考にさせてもらった。ただ、その中でも私も参加してちょっと疑問に思ったのは、テーマを絞ってもなかなか、今度ワークショップで意見が出るのはいいが、まとまらないで話があっちこっち行って、90分やったがなかなかまとまらなかったという弊害もあった。そういう形式の部分の話でいいかわからないが、そういう形式の中で何かテーマを持ってやるのも一つの方法かなと思った。

委員長：今、川上委員から浦幌形式、要するに来られた方がある程度の単位に分けてそこに議員が張り付いて話を聞くという内容、そこにはテーマがあったということで、そういう形式もありではないかとご意見だと思う。その他委員の皆様からいろいろな意見を聴取したいと思う。

（発言なし）

委員長：川上委員から出た、方式の一つとして当委員会ですぐいいということになれば、当委員会として議会運営委員会にこのような方式でやっていただきたいという申し入れをして、検討していただくということになると思うが、時期が時期だけに大きな形の変化は厳しいなと思う。今回は今回としてテーマを設けるか、設けないか、設けるとしたらどんなテーマにするかを検討しておいて、来年開催に向けて、こういう意見もあったということを経営委員会に報告するぐらいしか、時間的にはないかなと思うが、今のまとめ方で皆さんからこうしたほうがいいということがあれば出していただきたい。いかがか。

(発言なし)

委員長：時間的にちょっと余裕がないので、来年度に向けて議会運営委員会に預けるという形にして、今年度開催の部分については、今までどおりテーマを設けるなら設ける、設けないなら設けない、設けるとしたらどのテーマにするかということを検討したいと思う。

まず、テーマを設けるか設けないかの1点に絞って意見ををお願いしたい。

川上委員：私も去年初めてのことであったので、これ以前はテーマがなくてやっていたような形であるか。平成29年度より前は、

委員長：平成29年度より前はテーマを設けなくてやっていた。

川上委員：平成29年度からテーマを設定することによって変わったという部分はあるか。

委員長：平成28年の災害の後ということで、ターゲットを絞りやすかったということもあるし、町民の皆さんも平成28年の不満もあり、そのことに対する意見もあった。その次の年、更に次の年となると、だんだんそんなテーマではなくて、こっちの話をしてほしいという意見の方もおられたし、とっかかりとしてそのテーマを最初にやって、その後、自由討議のような形に持っていく形になっていた。なかなかそのテーマについてはいいからというようなことがあったり、そこはいろいろ経過があるが、その前のテーマなしでやったときは、議会の報告会のほうに重きがあって、参加された町民の方は不満が爆発であった。皆さんの発言の機会を増やすためにテーマを設けたり、発言しやすくしたりということをもくろんだという経過がある。

鈴木委員：テーマを持っていないときは、参加者が実質1人だとか、そんなときもあったと記憶している。これに何の意味があるのだろうかとは実は考えていたときもあった。去年を見ても人の集まりは悪くない状態になっているので、当面はこのような形でもう1回はやってみてもいいかなど。来年以降は先ほど話があったように、例えばワークショップ形式にしてみたりというのも一つの手かなと思う。今回は例年どおりということで、去年はこの委員会からは子育ての関係についてだったと思うが、これは保育所や幼稚園で比較的小さい子を対象にしていたのかということで、その世代が会場に来れるかといったらちょっと難しいと思う。となれば、小学校ないし中学校向けの子ども達に関する何かをこの委員会でやってもいいのかなど。若しくは、例えばスポーツ関係、文化関係、社会教育全般について、社会教育をやっている人たち、やっていた人たちに町を活性化するためにということを知るのも面白いかなと思う。社会教育系か小中学生向けのイメージしか今のところ出てこない。

委員長：テーマを設けるのであれば3月19日が期限となっている。今テーマの意見を出してほしいと言われてもすぐに出るものではないという様子であるので、3月16日か17日の一般質問終了後にもう一度委員会を開いて、そのときに意見を持ち寄っていただくというような形はいいか。

(異議なしの声あり)

委員長：3月16日か17日の一般質問終了後のどちらかに調整して決めたいと思う。テーマを持つこととし、そのテーマを次も委員会までに皆さんに考えてきてもらうということでもよろしいか。

(よろしいですの声あり)

委員長：議件2についてはそのようなことでお願いします。

ちなみに、新型コロナウイルスの関係でこのような状況がしばらく続いたときに、町民を集めるということは無理になると思うが。

事務局長（山本司）：そうなる。

委員長：それはその時として、今はその準備をしておくということでよいか。

事務局長（山本司）：はい。

委員長：そちらのほうはそのときの状況に応じてということになる

### (3) その他

委員長：次にその他について入る。委員の皆様からその他について何かあるか。

(ありませんの声あり)

委員長：長時間にわたり皆様、ご意見をいただきましてありがとうございます。只今を持って厚生文教常任委員会を終了する。大変お疲れ様でした。

【 閉会 14:15 】